

11月（霜月）です。

11月18日の誕生花はヤマユリです。ヤマユリの花言葉は「あなたは私をだませない」です。つい最近読んだ本で、主人公は女性だと思っていたら、最後に実は男性だったというトリックがありました。読み返して「確かに女性とは一言も言っていないな…」と、なんだかだまされた気分になりました。自分が信じていたことが事実とは違っていたという驚きも、本を読む醍醐味です。ということで今回は「だます」をテーマに本を選びました。（裏面）ぜひ読んでみてください。

だまされると言えば、近頃なぞなぞにはまっています。『サクッと！頭がよくなる東大クイズ』東京大学クイズ研究会 2018年 青春出版 031 などから出題した内容を図書館で時々開催しています。

今回は『数と図形のパズル百科』デイヴィット 2017年 丸善出版 410 から問題です。ヒントは裏面です。

～なぞなぞ1～

3ケタの数字5つの中からひとつだけを消して、それでも答えが1240になるようにしてください。ただし新たに数字を書き加えたりしてはいけません。

(実際は手書き)

$$\begin{array}{r}
 318 \\
 303 \\
 300 \\
 104 \\
 + 215 \\
 \hline
 1240
 \end{array}$$

11月の司書在館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

★黄色は司書がいます。司書がいない日は図書委員が昼休みに開館します。

図書館利用案内

開館日時 ・平日 12:00～16:50
(司書在館日)

・昼休み(司書不在日)

貸出冊数 1人3冊

貸出期間 2週間

※開館予定は変更することがあります。

※図書館のマナーを守りましょう。

※返却期日を守りましょう。

10月の来館者数・貸出(延べ)

来館者数 名(開館統計日数 日)
貸出冊数 冊

～なぞなぞ2～

犬が死んでいるように見えます。この犬をどうにかして走らせてください。

(実際は手書き)



おすすめの本

～だまされる本～

『君に読ませたいミステリがあるんだ』東川篤哉 2020 実業之日本社 913

『謎解きはディナーのあとで』を書いた作家さんです。だまされて強引に第二文芸部に入らされた僕。水崎アンナ先輩とたった二人だけの部活で、先輩の書いたミステリーを読まされる羽目に。その奇想天外なストーリーと適当な動機が面白い。



『ブラウン神父 呪いの書』チェスタトン 2020 理論社 933

読んだものに呪いをかけてこの世から消し去ってしまうという謎の本。

5人の男たちが次々に消えていったからくりを、どんな些細なことも見逃さない観察力と、人並み以下の運動神経で、ブラウン神父がゆる〜く解決。



『化け札』吉川永青 2019 講談社 913

化け札とは、カルタにおいてすべての札に変えて使える札のこと。鬼札、幽霊札とも。周りは武田、織田、北条、徳川。裏切りとだまし合いを繰り返しながら小勢なりの戦い方をくり広げる真田昌幸の物語。



『数と図形のパズル百科』David Wells 2017 丸善出版 410

だまし絵やパズル、なぞなぞ、計算問題、図形まで幅広く収録。やさしいものからちょっとどころじゃない難しいものまで。数学の得意な人はぜひ。



※なぞなぞのヒント～1は、なぜ手書きなのか。2は、なぜ2匹いるのか。答えは『数と図形のパズル百科』を読んで探してください。